



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろする〜ど

2024/6月号 第293号

かいほうし  
会報誌

府中国際交流サロンは、府中に住む日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
て楽しく生活していくことを願って、活動を  
続けています。

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

## 〜サロン月間カレンダー〜6月〜

## 『『サロンの集い』準備委員会が発足』

### 日本語学習会

日時：6月3日(月)～6月28日(金)  
月(午前・午後)、水(午後)、金(午後・夜)

場所：会議室・学習室ほか

\*土曜学習会は下記のとおりです。

日時：6月1・8・15・22・29日(土)  
午後2時～4時

場所：会議室・学習室ほか

### 実行委員会

日時：6月12日(水)午前10時～昼12時

場所：第1会議室

### 日本語教授法研修会

日時：6月6日(木)～毎木曜・午後2時～4時

場所：学習室1・2 \*20日、27日は休講

### 第108回勉強会～山田しげみ先生特別講座

日時：6月26日(水)午前10時～昼12時

\*詳しいことは、「みんなの広場」をご覧ください。

### 文化交流部会～生け花教室

日時：6月14日(金)午前10時～11時半

場所：工芸室

花代：800円

定員：10名 \*申し込みは6月10日(月)まで

### フューチャー休館日

6月9日(日)、20日(木)は全館がお休みです。

\*詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。

実行委員会会長 和田 泰弘

府中国際交流サロンの恒例行事で、毎年年末に開催していた「サロンの集い」は、2019年12月9日の開催を最後に、コロナ感染のため4年間中止となっていました。この間、ボランティアと学習者が一堂に会して交流を深める機会がなくなりましたが、皆さまからは、「サロンの集い」の復活を望む声をたくさんいただきました。それを受けて、今年1月の実行委員会で「サロンの集い」を再開することが決まりました。実施日は来年3月1日(土)で、場所は「ルミエール府中」となります。

実施に向けて、準備委員会が設置され、5月17日(金)11時より、第1回目の準備委員会が開かれました。準備委員は、企画部会の漢人さんと桃井さん、月午前の桑島さん、萩野さん、月午後の奥井さん、水午後の小岩井さん、金午後の山下さん、森田さん、金夜の岩谷さんの面々です。

今回は初回とあって、まずメンバーの顔合わせがあり、その後、参加するボランティア、学習者全員の協力で手作りの交流の場を目指すことが確認されました。開催時間、アトラクション、形式等々、詳しい内容については2回目以降の準備委員会で検討されることになりました。

来年3月1日、是非、楽しい交流の場を実現しましょう。



# 世界の文化

## 「日本語学習発表会の原稿を紹介」

日本語学習発表会(2023年12月9日)の発表内容を  
紹介してきましたが、今回が最終回となります。

### 「日本の感想」

セルバラジャ・クシャール (マレーシア)

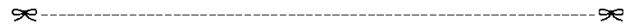


こんにちは、みなさん、  
私はクシャールです。今年、  
4月、マレーシアからきました。  
マレーシアにはいっぱい  
民族がいます。中国系、イス  
ラム系、インド系がいます。  
ぼくはインド系です。今、農工  
大学の留学生です。日本カモシカの分布と生態を  
研究をしています。私の趣味は絵をかくことと山登  
りです。

今日は日本の感想をおはなしします。日本はおも  
しろいとおもいます。たとえば、環境と文化はより  
マレーシアはちがいます。日本の自然は特別だとお  
もいます。マレーシアより日本で動物をみることが  
かんたんです。日本の森は広くてよく管理されてい  
るとおもいます。マレーシアの森は茂って歩いて歩  
くのが大変です。だから、動物をみるのがすこしむ  
ずかしい。

足尾と中禅寺湖にいきました。中禅寺湖のみずう  
みはほんとうにきれいです。みずうみがめちや青い  
ですね。あと、日本に来て、いろいろ祭りみしました。  
私をはじめて見たまつりは府中の暗闇まつりです。  
とてもたのしかったですよ。あたらしい経験です。  
お神輿と太鼓と山車と駒くらべと屋台もみしました。  
でも、そのときに暗闇まつりの意味をしらなかつた。  
藤平さんから説明を受けた。御輿をかつぐの(神輿  
渡御)はかつては暗闇の中でやっていた。このまつり  
は、タイプサムというインドのまつりに似ています。  
マレーシアにはいろいろ食べ物があります。日本

のものもあります。マレーシア人は食べ物をだいた  
すきだから。マレーシアにいったら、たのしみにして  
ください。結論に、日本はいっぱいすることがあり  
ます。日本でこれから富士山にのぼりたい、沖縄や  
北海道にりょこうしたいです。いじょうです。あり  
がとうございます。



### 「アルベルトさん、 カーネギーホールで演奏」

金午後ボランティア 川本 恵子

音楽家(ピアニスト・作曲家)としてのお仕事が忙  
しくなり、昨年2月でサロンを卒業されたイタリア  
人のアルベルト・ピッツォさんから嬉しい近況報告  
が届きました。彼は2019年の「サロンの集い」でも  
見事なピアノ演奏をしてくれました。

ニューヨークに本拠地を置くイブラ音楽財団が  
主催する年齢や賞歴なども問わない、クラシック  
音楽における真の才能を発掘するためのコンクール  
「イブラ・グランド・アワード」が、創設者の一人  
でもあるデヴィ・スカルノ夫人によって、日本でも開催  
され、アルベルトさんは、オリジナル作品を演奏し  
て、各部門第一位から選ばれる総合優勝(グラン  
プリ)を昨年獲得されました。

それ以降、国内外の各地でコンサートを開催、今年  
の5月7日には念願だったNYのカーネギーホール  
で演奏することができました。2024年7月20日には、  
デヴィ夫人のプロデュースで、銀座のヤマハホール  
で演奏会を開催します。また、府中の森芸術劇場の  
大規模修繕の終了後、来年の7月にコンサートを  
予定しています。それまでに、日本語がもっとでき  
ようがんばるそうです。月刊『Piano』6月号と並  
んで、Webマガジン『音遊人』にてデヴィ夫人とアル  
ベルトさんのインタビュー記事を、ネットで読むこ  
とができるそうです。ご参照ください。

<https://jp.yamaha.com/sp/myujin/79991.html>

いまでも、<sup>ふちゅうこくさいこうりゅう</sup>府中国際交流サロンの一員であることを<sup>ほこ</sup>誇りに思っておられます。<sup>げんざい</sup>現在も<sup>ふちゅうし</sup>府中市内に住んでいますので、お見かけになったら、<sup>きがる</sup>気軽に“<sup>にほんご</sup>日本語”で<sup>こゑ</sup>声をかけてあげてください。



アルベルト・ピッツォさん



カーネギーホールで演奏するアルベルトさん

## しん 新ボラさん こんにちは

の  
「まだ伸びしろ(potencial)がある！」

すいようごご  
水曜午後ボランティア <sup>にしかわ</sup>西川 <sup>ともこ</sup>伴子

1993<sup>ねん</sup>年から<sup>ふちゅうし</sup>府中市に住んでいます。<sup>しごと</sup>仕事で忙しい時は、<sup>ちいき</sup>地域とかかわる<sup>きかい</sup>機会が少なかったです。今、「<sup>じんせい</sup>人生の秋」を<sup>むか</sup>迎え、<sup>たまがわ</sup>多摩川と<sup>みどり</sup>緑の近くで<sup>せいかつ</sup>生活できることに<sup>よろこ</sup>喜びを感じます。

25<sup>ねん</sup>年ほど前、<sup>かぞく</sup>家族の<sup>しごと</sup>仕事の関係で、<sup>ちほう</sup>イギリスの<sup>ちほう</sup>地方都市で生活したことがあります。<sup>えいご</sup>英語が聞きとれず、<sup>くろう</sup>苦労しました。<sup>ちやうじよ</sup>長女が0歳だったので、<sup>ちいき</sup>地域の<sup>ほけん</sup>保健婦さんにも<sup>せわ</sup>お世話になりました。また、<sup>わたし</sup>私は、とある<sup>がいこくご</sup>外国語を<sup>べんきやう</sup>勉強しています。「<sup>にほんじん</sup>日本人あるある」で、<sup>よ</sup>読み書きは何とかなりますが、<sup>きこ</sup>聞く・<sup>はな</sup>話すは苦手です。「<sup>まちが</sup>間違えてはいけない」と<sup>おも</sup>うと、<sup>はな</sup>話せなくなります。めげずに、<sup>と</sup>取りあえず、<sup>はな</sup>話し続ける、ひとりごとを<sup>い</sup>言う。この<sup>ハードル</sup>ハードルを<sup>こ</sup>越えようとたたかっています。

さて、<sup>にほんご</sup>日本語の話です。420<sup>じかん</sup>時間の<sup>にほんご</sup>日本語<sup>きょうしやう</sup>教師養成講座では、<sup>むずか</sup>難しさと<sup>ちから</sup>力不足にしばしば<sup>よわ</sup>弱気になりました。でも、<sup>にほんご</sup>日本語を<sup>べんきやう</sup>がんばって勉強している<sup>りゅうがくせい</sup>留学生の<sup>すがた</sup>姿に<sup>ちから</sup>力をもらいました。<sup>がいこくご</sup>外国語は<sup>つか</sup>使う<sup>ば</sup>場数の<sup>お</sup>多さが<sup>せいちやう</sup>成長につながることを、<sup>じつかん</sup>実感しています。一緒に<sup>いっしょ</sup>勉強しながら、<sup>がくしゅうしや</sup>学習者の<sup>みな</sup>皆さんのお役に<sup>た</sup>立てると<sup>うれ</sup>嬉しいです。どうぞよろしく<sup>ねが</sup>お願いいたします。



# 皆さんよろしく◇学習者紹介

ルインココさん(夫)

ノーズインマーラーウィンさん(ミャンマー)



## いっせきにちよう 「一石二鳥です」

ミャンマーのご家族を紹介しします。ご夫婦と娘さんの3人家族です。名前に苗字はありません。

私(通称:マーラー)が、2020年に来日し、2023年5月に夫と娘が来日しました。夫婦とも母国でIT関連の仕事をして、私は日本でもIT関連の仕事をしています。夫は仕事をするために日本語を勉強中です。

趣味は料理と読書です。ミャンマーの料理は煮魚で、辛いのが好きです。日本の料理は辛くないです。夫は煮魚も辛いのも苦手ですが、ポーク料理(煮物)や野菜炒めが好きです。娘はエビを食べません。

読書は、有名人の自伝、コメディ本やフィクションです。最近の本はアメリカのオバマ元大統領夫人の自伝です。夫の趣味は、サッカーと読書です。読書は世界の歴史本です。娘は、ダンスや歌が好きです。

私の性格は、積極的、楽観的、ポジティブ思考で、夫はまじめで優しく、娘は行動的で頭もいいです。府中は公園が多いので子供のために便利です。子供のサポートも多く、なんでも教えてくれます。

仕事はチャットが多く、会話が少ないのですが、サロンは、発音も教えてくれるのでうれしいです。

好きな日本語は、「一石二鳥」です。この言葉はミャンマーにもあります。娘がよく使う言葉は、「一緒に遊ぼう」です。(聞き書き・末田)

# 学習会だより

今月は、学習部会の部会長を新しく担当されることになった傳田さん、小柳さん、田路さんをご紹介します。

## 「臨機応変に対応する工夫をしています」

月曜午後部会長 傳田 英男

今年度の月曜午後部会長になりました傳田英男でございます。2022年の日本語教授法研修会を受講し、同年9月から学習会でボランティアをしています。

45年の会社勤めを終えた後、日本で暮らす外国人のお役にたちたいと思っていた時に国際交流サロン(国際交流)の活動を知り参加しました。今まで約1年半の間に何人かの学習者さんのお手伝いをしました。日本語レベルの異なる方々の異なる学習目標を支援するのは臨機応変な対応が必要となり難しいですが、色々工夫していくことは楽しみでもあります。

サロンは日本経済の低迷が始まった1990年代の半ば1995年に活動が始まりましたが、日本経済は現在に至るまで低迷から抜け出せないでいます。そんな時代の中でもサロンの日本語学習教室が多くの方々の熱意で続き、たくさんの方々が日本語を勉強できていることは素晴らしいことだと思います。これから人口減少が続く日本が活力を取り戻すためには、今まで以上に外国人の方に社会を支えてもらう必要があると思います。そんな時代にサロンの日本語学習支援が続いて、社会に貢献していけるよう少しでもお役にたちたいと思います。

最後に月曜午後部会の現状をご紹介しますと、登録学習者の国籍は中国が4人、アルメニアが3人、南アフリカ、アフガニスタンがそれぞれ2人、米国、インドネシア、ネパール、ミャンマー、台湾、モンゴル、ベトナム、インドの8か国から1名ずつで計19人、学習者の平均的な参加人数は11~12名となっています。ボランティアは比較的ベテランが多く登録者は19人です。

## 「水曜日部会の近況について」

水曜午後部会長 小柳 進

この度、水曜日部会長になりました小柳です。約6年前、私は府中市に転居し、当サロンに2年2ヶ月お世話になっています。

私は微力ですが、すばらしいボランティアの皆さんの力を借りて、さらなる楽しい部会にしていきたいと思います。

さて、当部会の仲間たちを紹介いたします。学習者さんの出身国はアジア、ヨーロッパ、北米、南米、中東等、たくさんの国から来日しています。現在(5月上旬)、男性5名、女性12名、計17名で主婦が多いようです。日常生活に困らないようにしたい、子供が通う保育園、学校等でママ友と会話したい、日本語能力試験を受けたいとか、色々な理由、目的で日本語を習得したいと頑張っています。

ボランティアは男性9名、女性16名、計25名です。皆さんは熱心に学習者さんの希望を聞いて、学習者の勉強に興味、関心がわくように工夫しています。当サロンの学習の基本は「マンツーマン」であり、最大メリットは学習者が他の人を気にせず話したいことを好きなだけ話せることです。日本語をたくさん話すことで話す力はアップします。学習は見るのではなく、話すことだと思います。

この広い世界から日本、そして府中の当サロンで出会って一緒に学習できることは貴重なことです。私たちボランティアも学習者の異文化や言葉を学び、相互に信頼関係を深めていきたいと思います。

## 「楽しく、うまく話せ、書けるように…」

金曜夜部会長 田路 睦生

4月より金曜夜の部会長になりました、田路睦生です。府中市には1995年より住んでおりますが、2019年に戻るまで20年程を海外で生活しておりました。私もボランティアの多くの方と同様で、海外での経験から日本に住んでいる海外の方のサポートをしたいと国際交流サロンに参加しました。学習会への参加は2022年の9月からです。

金曜日は19時から始まりますので、仕事をしておられる学習者が多いのが特徴です。企業や高校、介護施設に勤めておられる方、技能実習生の方、大学での研究生などです。近頃はワーキングホリデーでの来日で、日本語を勉強し将来日本で働きたい方も増えています。

国籍もアジア、アフリカ、中近東、欧州や豪州と広く、現在14か国になります。私もブラジル、ミャンマー、カンボジアの方を担当しました。学習者さんは熱心な方ばかりで、将来は自国に帰って、学んだ技術で貢献したい、店や事業を立ち上げたいという方もいます。

そんな学習者の日本語勉強のために、ボランティアの皆さんと協力し、楽しく、うまく日本語が話せるよう、書けるよう、試験に合格するように努めていきたいと思います。

私は府中市多文化共生センターDIVEのスタッフでもあり、府中市に住んでいる外国の方の相談対応をしております。国際交流サロンとDIVEが連携して、外国の方に府中市に住んで良かったと思える場を作っていきたいと思います。よろしくお願いたします。



## 「皆さん、“語彙コントロール”をしていますか？」

けんしゅうぶかい さとう えいこ  
研修部会 佐藤 英子

5月22日(水)午前10時より、表題にあるように、語彙コントロールについての勉強会がありました。参加者は9名と少なめだったので、自己紹介をし合って、その後、本題に入りました。

そもそも語彙コントロールとは何なのか？参加者の中に日本語学校で教えている人がいたので、学校での語彙コントロールについて話してもらいました。

「未学習の言葉を使用しない」「それまでに習ったものを使う」「え～、あ～をむやみに言わない」「ゆっくりめに話す」「妙なアクセントをつけない(例：言葉尻を上げたり伸ばしたり)」等々の注意事項の説明がありました。それらはすべて、サロンのボランティアにもあてはまるものでした。

学習者の日本語のレベルに応じて、教える側の日本語が決まります。最初に『みんなの日本語』の問題集などを用いて相手のレベルをチェックする、そして学習時には、第何課では何を学ぶかをまとめたチェック表(学習項目一覧)をいつも手元に置いておくこととあわせて学習を進められます。

また、言葉の言い換えや説明に国語辞典を使う場合は、わかりやすい簡単な言葉で書いてある小学生用の国語辞典が良いです。

勉強会の後半では、自分の言葉の癖や傾向について話し合いました。出身地、育った環境、年代、そして時間の経過などからも言葉は変わっていきます。例えば、年配者でも「ら抜き言葉」や「短縮形言葉」に以前ほどには違和感を覚えず、自分もいつの間にか使っていたなどという話を聞くこともあります。

アクセント、敬語は正しく使えているか、偏った語彙ばかり使っていないか、話す速度はどうか等、自分の言葉の癖を分析してみることは、適切な語彙コントロールをする上での基本です。外国人に日本語を教える上で、私たちは日本語に敏感でなければならぬと思いました。

## 「校歌の三要素」

きんようよる わだ やすひろ  
金曜夜ボランティア 和田 泰弘

昨年11月に高校時代の、この3月には小学校時代の、それぞれコロナで途絶えていた同期会がありました。久しぶりの再会で盛り上がった会の締めは、定番の、校歌合唱でした。

「遙かに富士の雪白く 緑したる函嶺を 朝夕べに眺めては～」で始まるのは小学校、「大天地にそそり立つ箱根の山を背向いて 覇者の古城の跡に立つ～相模の海の荒波に 堅忍不拔の心あり」は高校の、それぞれ校歌です。

私が生まれ育った小田原は、南は相模灘に面し、西に箱根の山々、北に丹沢山系が連なり、中心部は平野という地勢で、富士山も望め、いずれの校歌にもその小田原の豊かな自然が盛り込まれています。そういえば、中学の校歌の出だしも「足柄平野 連山の空に富士あり 風清し」でした。

甲子園の春・夏全国高校野球大会では、試合終了後、勝者の校歌が流されます。十中八九、その歌詞には、その土地の自慢の風景が謳われており、語調は七五調です。校歌というのは、どうやら、「土地誉め」を導入部に据え、「教育理念」を掲げ、「七五調」で整えれば一丁上がり、ということのようです。

甲子園で紹介された校歌で、とても印象に残るものがありました。夏の第50回大会(1968年・昭和43年)で、岩手県代表の盛岡一高の校歌が流されたときのこと。翌日の新聞は、多くの観衆がぎょっとした、と報じていました。校歌の旋律が、なんと『軍艦マーチ』だったのです。歌詞は、戦意高揚とは無縁の、岩手山や北上川を愛で、教育理念を盛り込んだ、校歌の定番です。卒業生の宮沢賢治や石川啄木も歌ったのでしょうか…。

校歌の要である教育理念はといえば、我が小学校は「明日の日本を負って立つ」、中学は「学ばば広く地は拓け 正義を守り自主に立つ」でした。

# こんな教え方しています

～ 18 ～

## 「サロンの様々な資料が役に立ちました」

金曜午後ボランティア 山下 和美

初めての本格的な活動から4ヶ月以上になりました。学習者は、昨年9月にご主人と来日し、都内にお孫さんも居る中国人の女性です。日常会話を覚えたいと希望しています。日本語は全く解せず、英語は習ったことがないそうで、簡単な言葉もできません。でも彼女は中国で立派に暮らしてきた人ですから、共に楽しくやりたいと思いました。

万国共通なのは笑顔と絵しかないと、子ども用絵カードから、生活に大切な挨拶のこんにちは、ありがとう、物の単語など、動作をしながら声に出して何回もやりました。「あいうえお」も毎回読み、書き、彼女は熱心にノートに練習してきましたが、家では中国語のみで、使う機会がありません。行きつ戻りつの2ヶ月で、花丸を付けたり、感心したりの試行錯誤でした。ある時、彼女がスマホで得意そうに、作った本格的中華料理を見せてくれました。ちょうどその頃、勉強会でベテランの方から、サロンに美しい料理全集があるとの知恵をいただきました。彼女はそれで我が意を得たとばかりに材料、作り方など、私に教えたいとなり、一気にキョリが縮まりました。その際は、やむを得ず禁止手のスマホの変換を駆使しました。

また、都内のお孫さんに会う時は、地図を見ながら行程をたどり、日本の習慣なども伝えました。サロンの様々な資料が役に立ちました。中国語併記の『みんなの日本語』も少しずつ使っています。

つたないやり方で暗中模索ながら、古くからの友人のように、よく笑い、気持ちの良い時間を共有しています。学習者の人格を尊重して、目的や関心に合う対応ができたらと思っています。

# みんなの広場

## 第108回「勉強会」のお知らせ

### 「山田しげみ先生による特別講習会

### ～助詞とは？～

今回の「勉強会」は、サロンの「日本語教授法研修会」の講師を担当していただいている山田しげみ先生（東京外国語大オープンアカデミー講師）をお招きしての特別講習会となります。

日本語学習において重要な学習項目の一つである「助詞」について、その「分類・意味・使い方」をわかりやすくお話しくださいます。下記の要領で開催しますので、皆さま、是非ご参加ください。

■日時：6月26日(水)午前10時～昼12時

■場所：フューチャー学習室1・2

■定員：30名(先着順)

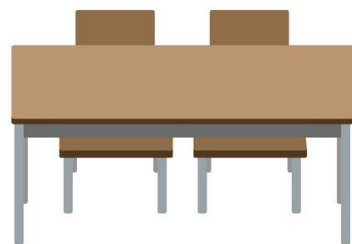
■参加費：無料

■応募方法：サロン事務局へ申し込み

■締切り：定員に達し次第、締め切り

■対象：今回はボランティアに限定

※詳しいことは、サロン事務局か研修部会にお問い合わせください。





# 「日本語を誌上で学習しよう！」

今回は、『みんなの日本語初級Ⅱ』標準問題集の第26課からの出題です。日ごろの学習の成果を試してみましよう。例のように、□の中から適切なことばを選んで適切な形に変えてください。

いいです・悪かったです・下手です・病気です・遅れました・故障しました・書きます・来ませんでした・休みじゃありません・食べません・しています・**捜しています**・**ありません**

例：何を**捜**しているんですか。…ここに置いた手帳が**ない**んです。

## ■問題

- 1) どうしてケーキを\_\_\_\_\_んですか。…今ダイエットを\_\_\_\_\_んです。
- 2) どうして会議の時間に\_\_\_\_\_んですか。…車が\_\_\_\_\_んです。
- 3) 先週のお花見、どうして\_\_\_\_\_んですか。…ちょっと都合が\_\_\_\_\_んです。
- 4) 土曜日遊びに来ませんか。…今度の土曜日は\_\_\_\_\_んです。
- 5) 今晚飲みに行きませんか。…すみません。妻が\_\_\_\_\_んです。
- 6) いつもパソコンで手紙を\_\_\_\_\_んですか。…ええ、わたしは字が\_\_\_\_\_んです。

答は編集後記の後にあります。



# ～編集後記～

今月号は、新たに学習会の部会長が誕生し、抱負等を記載していただきました。各部会とも新鮮な雰囲気になっているのではないのでしょうか？

私も新たにマッチングを担当することになりました。学習者が当日、欠席することがよくありますが、そのときは、ボランティアが余ることになり、ボランティアの方には申し訳ない限りです。逆に新規の学習者に予定していたボランティアがいないときもよくあります。その際は、新規の学習者の担当ボランティアが固定できず毎週替わってしまうこともあります。これも学習者さんには申し訳ないと思っています。それでも学習会で共に学んでいる姿は、やっつけてよかったと思わせてくれます。(末田)



## 「日本語を誌上で学習しよう！」の答

- 1) 食べない している
- 2) 遅れた 故障した
- 3) 来なかった 悪かった
- 4) 休みじゃない
- 5) 病気な
- 6) 書く 下手な

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：末田・和田・堤 林・岩城

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

